

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 3月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4(3)	運営推進会議の構成委員として家族の出席等を積極的に促すことで、事業所の課題や問題点について意見が寄せられるよう取組に期待したい。	運営推進会議に家族や地域からも参加できるように工夫するよう努め、意見や要望等を受け、情報交換の場としてサービスの向上に活かす事ができる。	家族様に参加して頂く為に、前後に担当者会議の予定を計画する等の工夫を行い、できる限り活発に意見交換できる雰囲気と進行に努めていきたい	6ヶ月
2	6(5)	拘束に関する説明は口頭だけではなく、説明書・経過観察記録の整備に努めていただきたい。	「拘束をしないケア」を施設職員、家族で周知徹底共有し、拘束以外に手段がない場合は、担当者間で話し合い、説明や同意を得た後に、経過記録、報告を密に行う体制に努めたい。	身体拘束について、狭義、広義の意味も含めて職員、家族共に、担当者会議や勉強会等の場で、「どのような事が身体拘束になるか」、共通理解をもって、拘束以外に手段がない場合、担当者間で話し合い、計画、経過実施、評価の手順を踏まえて実施できるように努めていきたい	6ヶ月
3	35(13)	消防訓練後は、実施記録を整備し次回に繋げて行く事や訓練への地域住民の参加等、協力体制の構築が望まれる。	消防訓練の際には、地域の方々にも参加を呼びかけ、体験して頂く事で地域連携を図り協力体制を整える事ができる。	消防訓練での反省は職員全体で振り返り、次回の訓練に活かせるように連携し、訓練は職員及び地域の方々もできる限り多くの参加ができるよう配慮工夫に努めていきたい	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。